

## Bent [convenience]

写真学科 高島圭史 Keiji Takashima



古くから社会は利便性を追求することで技術やサービスの進化を遂げてきた。

今、一番身近に利便性を感じるものといえば情報端末やそれに付随するアプリケーションを思いつく方も多いのでは無いだろうか。

情報端末が利便性の代表として挙げられるようになった理由としては小型化（モバイル性）と情報インフラの充実はもとより、携帯電波、無線 LAN、Bluetooth などの無線化技術も一助として考えられる。

今回は利便性を考える中で今後ますます重要になっていく無線化技術を取り上げ、制作を試みた。

制作にあたっては写真古典技法である湿板写真（1851 年発明）をキーとし、最新のインクジェットプリントまで、新旧の写真技術を織り交ぜて制作を行った。

写真分野においても発明当初から利便性の向上が命題となり今現在も進化を続けている。

本作品においては利便性というものを再認識し、日常にある技術進歩を考えるきっかけになれば幸いである。



1981 年生。愛知大学経済学部経済学科卒業。東京工芸大学芸術学部写真学科卒業。  
写真制作を専攻分野とし、湿板写真などの古典写真技法による制作活動を行っている。  
美術館や大学などでワークショップ（暗室技術指導、写真古典技法、映像系）やスクールプログラムなど写真教育にも多数関わっている。  
「古典写真講座」講師 郡山市立美術館 2013 年  
「Personal Documents Project」企画運営 韓国 ソウル 2016 年 など多数。

